

命を守る医師・歯科医師は 日本が戦争に進む道には反対です

● 鹿児島島の医師・歯科医師も動き始めました

9月16日、鹿児島市勤労者福祉センターに29名が集い“九条医師・歯科医師の会かごしま”を結成しました。



会は呼びかけ人の青山浩一氏（ますみクリニック）の“会”結成に至った経過の説明をうけ、今後県内の医系学生を含めた医療関係者に、幅広く憲法九条を守る運動を訴えていく事を確認しました。九条についての意見交流がおこなわれた後、幹事11名（代表幹事には鹿島友義氏）を選出して結成総会は終了しました。会の規約（申し合わせ）は下のごとくです。

九条医師・歯科医師の会かごしま申し合わせ

(名称) “九条医師・歯科医師の会かごしま”とします。

(目的) 「九条の会」アピールの趣旨に賛同し、この趣旨を広く鹿児島県下に広めることを目的とします。

(活動) 「九条の会」のアピールを広めるために、講演会や学習会および各地域の九条の会などと連携し多彩な活動に取り組みます。

(組織) この会は、医師、歯科医師、その他の賛同者によって構成されます。

この会に会員総会と幹事会をおきます。会員総会は、年1回以上開きます。

幹事のうち若干名を代表幹事とします。この会の日常的事務を処理するために、幹事会のもとに事務局をおきます。

(財政) 財政は、会員の協賛金（一口2,000円）と寄付金や若干の事業収益金でまかないます。会計年度は4月1日から翌年3月31日とします。

(事務局) 会の事務局は、鹿児島市明和1丁目26-7 ますみクリニック内におきます。

国民投票で阻止しなければならない程に九条改悪の動きは差し迫った問題になりつつあります。政治的意見の違いを超えて“九条を守る”という一点で集まることが大切だと思います。

(代表幹事、鹿島友義)



● 160名以上の聴衆を集めた記念講演では

生々しい被爆体験と平和への思いが語られました

結成総会に引き続いて開かれた記念講演では、広島で軍医として被爆し、その後も被爆者を守る運動を続けてきた肥田舜太郎氏のお話を聞きました。生々しい体験談と共に九条を守る運動とも結びつく平和への思いが語られ、参加者の感動を呼びました。講演のビデオ・DVD あります。学習会などで使いたい方は、事務局にご連絡ください。



参加した 40 代女性医師から

被爆直後の様子が非常にリアルで、理解できない症状にとまどいながらも診療にあたるお姿が、目に浮かぶようでした。子ども達にもぜひ聞いてもらいたい内容でした。切迫した危機感も感じました。この間の状況を思うと、絶望的な気もします。しかし何かをし始め、し続けることはしなければ。そういう焦燥感にかられています。

合唱団“風”も、講演会オープニングに、平和を願う歌を歌ってくれました



記念講演の DVD を作成しました。ご希望の方にはお分けします。事務局にお知らせください。



倒れた人の脈を取ろうにも、全身の生皮のはがれたその被爆者には皮膚がないので、脈もとれなかったのです…
憲法を守り、核兵器をなくさなければならぬ。子供や孫に戦争の種を残さないよう、皆でがんばりましょう（記念講演から）

九条医師・歯科医師の会かごしま

事務局：〒899-0024 鹿児島市明和1丁目26-7 ますみクリニック内

TEL 099-282-1586 FAX 099-282-3670

幹事：鹿島友義（代表、南風病院）、青山浩一（ますみクリニック）、有馬一城（有馬眼科クリニック）、出雲周二（鹿児島大学医学部難治性ウィルス研究センター）、大浦教一（大浦歯科クリニック）、小田代憲一（小田代記念記念クリニック）、田原睦朗（耳鼻科医）、中村啓子（鹿児島生協病院）、吉見謙一（国分生協病院）、吉見修子（谷山生協クリニック）